

世界平和を祈る会 W.F.B. 第345号

No. 345

全 仏

1/89

第16回 WFB ロサンゼルス大会



ロサンゼルス市・仏光山西来寺のWFB開会式に集った各国代表

全日本仏教会

第16回

WFBRosanゼルス大会

二十一カ国、四百名参集

第十六回世界仏教徒会議ロサンゼルス大会は、昨年（一九八八）十一月十九日から二十五日まで、アメリカ合衆国ロサンゼルス市郊外の台湾系寺院、仏光山西来寺を会場に開催された。



会場内に勢揃いした二十一カ国の代表者たち

初めて太平洋をわたったこの大会は、「世界平和に向かって仏教徒の結集を」とスローガンに、世界二十一カ国五十四センターから、約四百人の代表及びオブザーバーが出席、日本からは、特別来賓として大谷光真本会々長（浄土真宗本願寺派門主）、代表団として野口善雄本会理事長（世界仏教徒連盟WFBR副会長）、以下約百名（主な参加者は別掲）が参加、各国の仏教関係者と、交流の場を持ち、友好を深めた。

大会初めて太平洋を渡る



日本を代表して挨拶する大谷会長

大谷光真会長が挨拶
このたびの大会会場となった仏光山西

来寺は、ロサンゼルス中心部から車で約一時間の丘陵地ハシエンダ・ハイッツにあった。大会を目指し、突貫工事で建立さ



歓迎の挨拶を述べる星雲法師



挨拶する宮原スナオ WFB 副会長

大会会場に立ち並ぶ七つの殿堂

れたというこの寺院には、約十四エーカー（五万六千平方メートル）の敷地に、大雄宝殿を中心として七つの殿堂が建ちならんでいる。北京・故宮の太和殿を模したものともいわれるこの大雄宝殿は、中国様式の建造物としては、アジア以外では最大級と思われ、陽光に輝く金色の屋根を見上げると、しばしアメリカにいることを忘れそうである。

各殿堂の内部は、極彩色に荘厳され、中国仏教伝統の諸仏が安置されている。その中を色とりどりの衣に身をつつんだ各国仏教関係者が行きかう姿は、WFB大会ならではの雰囲気をも出し、仏教がインターナショナルな宗教であることを、各参加者に強く印象づけているようだった。

次期開催地は韓国

開会式は、二十日午後二時から、関係者で埋めつくされた大雄宝殿を会場に、星雲法師（西来寺山王）の歓迎の言葉で始まった。

サンヤ・タルマサクティ WFB 会長開会の辞（サンヤ氏欠席のため、宮原スナオ副会長が代読）につづいて、大谷光真会長が、各国からの来賓を代表して挨拶を行った。（別掲）

その後、各国センターからの祝辞が披露され、特別来賓紹介、各センター代表紹介等が行われ、午後四時すぎ、開会式は終了した。

大雄宝殿に入りきれない参加者のために、別室ではモニターテレビでの中継も

大行天皇の崩御にあたり
衷心より 哀悼の意を表します

財団法人 全日本仏教会

行われ、また、境内の各所で仏旗等を背に、記念撮影を行う人たちの姿がみられた。

午後六時からは、西来寺主催のレセプションが行われ、日本からは、大谷会長、野口理事長等の代表が出席した。

翌二十一日から二十三日までは、全体会議や常設委員会が相次いで開かれ、種々の問題が協議され、さらに記念シンポジウムが開催されて、各国センターからの代表者によって、活発な意見交換が行われた。

二十四日の閉会式では、各常設委員会で討議された問題が報告され、①国連や

ユネスコへの積極的参加、②各仏教団体の相互連絡の強化、③世界平和への仏教徒の寄与、等が決議され、次期会議の開催国としては、韓国が満場一致で決定された。

翌二十五日には、大会代表団によるロ

時機にかなった会議

松濤弘道師語る

なお、この大会期間中、日本代表団の公式オブザーバーとして、全日程に出席した、上野学園大学教授・松濤弘道師は大会終了後次のように述べた。

アジア以外の地での開催 歴史的な深い意義

大谷会長の祝辞

第十六回世界仏教徒会議ロサンゼルス大会が開催されるにあたり、全日本仏教会を代表して祝辞を申し述べます機会を得ましたことは、私の大きな喜びであります。

顧みれば、世界仏教徒会議は、一九五〇年、スリランカにおいて第一回会議が開催されて以来、一貫してアジアにおいて開催されてまいりました。日本においても、一九五二年と一九七八

サンゼルス市内各国仏教寺院めぐりが行われ、日本をはじめ、タイ、チベット、ベトナム、韓国などの寺院への参拝を通して、アメリカにおける仏教の実態が、紹介された。

「会議の期間中を通して、参加者が持参したそれぞれの仏教活動の資料や情報交換などが、宗派や人種の別なく参加者同士の間で和気あいあいのうちに各所で見られ、今後の活動に資するところが多く、それだけでも会議の意義は大いにあったといえよう。

各地から米国に伝えられた仏教は、今日、様々の花を咲かせており、日本から伝えられた仏教も百年の歴史を有しております。それらは東洋と西洋の出会いとなり、現代文明の行方を案ずる人々の灯火となっています。その中で、短日月の間に、このような豪華華麗な大伽藍を建立され、本会議を受け入れてくださった星雲法師をはじめ仏光山の関係者の皆様のご苦勞に対して衷心より敬意を表するとともに、ご好意に対して、深く感謝いたすものであります。

最後に、本会議のテーマである「世界平和のためにWFBの一致協力を」の趣意が世界の仏教徒に及ぶことを念願してご挨拶いたします。



日本から参加した代表団

今までの世界仏教徒会議の開催地がみなアジアの仏教国であったのに対し、史上はじめてアメリカという仏教になじみのうすい場所を選んだことに、当初奇異と危惧の念を抱いた人がいたことは事実であるが、実際に開催してみてもそれが杞憂にすぎなかったことが証明された。

すなわち、アメリカ人の間にわれわれの想像以上に仏教に関心と期待の高いことがわかり、それだけ世界的視野の下で東西の融合を図ろうとする意欲と寛容さに敬意を表さずにはいられず、仏教東漸のためにもまことに時機にかなった会議であったといわなければならない」

さらに松濤師は、参加者からの日本仏教界への声として、次のように述べている。

「痛感したことは、ちょうど国際政治や経済貿易の面でわが国が先進国に躍進したことと呼応するように、わが国の仏

開会式会場を一杯に埋めた各国代表の参加者たち



教界や仏教徒に物心両面にわたり支援を期待する人々が多いことである。釈尊誕生の地ルンビニー園開発問題や、バングラーディッシュやスリランカの水害救援活動や、世界仏教徒連盟の財政基盤の強化な

日米仏教徒交歓会

アメリカ側から二百二十人が出席



歓迎の辞を述べる山下顕光ロサンゼルス仏教各宗連合会会長

.....

第十六回世界仏教徒会議開会式の翌二十一日、午後七時からロサンゼルスヒルトンホテルで「日米仏教徒交歓会」が開催された。

これは、日本から多数の仏教関係者が訪米する機会に、長い間アメリカの地で尽力された開教使の方々や、日系人仏教徒の人たちと交歓の時を持ち、両国仏教徒相互の友好親善を深めることを目的

ど、どれをとってもお金のかかることばかりであるが、経済的に恵まれている日本の仏教徒がなせもっと積極的に支援の手をさしのべてくれないのか、という声を、いたるところで聞かされた。

に企画されたものだが、三三〇人（日本側一〇〇人、アメリカ側二二〇人）の出席者で一杯になった会場は、開会前から和やかな雰囲気の中に、日本語、英語の歓談がつづいていた。

午後七時、割れんばかりの拍手の中、大谷光真会長が入場、司会者が開会を宣言した。この日、司会を担当したのは、本会の齋藤明聖同和推進部長（日本語）と東本願寺ロサンゼルス別院の伊東憲昭師（英語）のお二人。

最初に、毛利正寄ロサンゼルス仏教各宗連合会副会長が導師となって三帰依文を唱和、つづいて大谷光真会長が、要旨次のように挨拶を行った。

「日本からアメリカへの移民がこの地に第一歩を印したのは、既に百二十余年前の遙か昔にさかのぼるのであります。顧みれば我が同胞は良くあらゆる艱難辛苦に堪えて奮闘努力しました。今日、日系人の皆様は、社会のあらゆる方面において活躍され、深い信頼と尊敬をかちえているとうかがい、誠に御同慶に堪え

ロサンゼルスヒルトンホテルの交歓会で挨拶する大谷会長



ない次第であります。私はひそかに思いますのに、そのさい日系人の皆様の精神的支柱として仏教の信仰が与って力があつたものと信じてるのであります。そうして日系人の方々と共に汗を流して開教に挺身し、当地の仏教の興隆に偉大な貢献をした開教使の皆さま、その開教使を助け



なごやかな交歓風景、熱心に話を聞くアメリカのご婦人

た感がいたします。これから日米仏教徒は、いよいよ互いに手を携えて関係を強化し、仏教紹隆、日米友好、世界平和のために努力をすることを誓い合いたいものであります。次にアメリカ側を代表して、山下顕光ロサンゼルス仏教各宗連合会々長（曹洞

た信徒の皆々様の御努力に對し、更めて衷心より敬意と謝意を表したいと思ひます。本席、普段は太平洋を隔ててはいても、同じ仏教の信仰に生きる私達が、こうして一堂に会して交歓を深めることができるといふことは誠に嬉しいかぎりです。今日、太平洋は日米兩國にとつて内海と化し

宗北米開教総監)及び、山岡誓源米国仏教団総長(浄土真宗本願寺派)のお二方から歓迎の辞が述べられた。

司会者から主賓紹介があった後、食前の合掌を波多泰亮米国仏教団南部教区長(浄土真宗本願寺派)が、乾杯を野口本会理事長が、それぞれ発声を行って会食に移った。なお紹介されたアメリカ側主賓は、毛利、山下、山岡、波多各師の他、曾我部了勝ロサンゼルス仏教各宗連合会副会長(高野山真言宗北米開教総監)、日連宗身延山米国別院の藤原良法師、川合了勝北米浄土宗別院総監、齋藤暁紅東本願寺ロサンゼルス別院輪番・北米開教区開教監督等の方々であった。

会食も終わりに近づくと、この日来賓として出席した南カリフォルニア日本商工会議所副会頭の小野寺ヘンリー氏より祝辞があり、両国仏教徒が記念品を交換して、友好のムードを盛り上げた。

つづいて、特にこの交歓会のためにロサンゼルス仏教各宗連合会が製作したス



岐阜―杉山 令肇 65歳 自民・現
①岐阜県仏教会 ②龍谷大卒 法務政務次官 党法務部会長 ③参議院文教委員長

ライドが上映された。スライドは、百年を超える日系移民の困難をきわめた苦闘の開拓史を、各宗開教使の血の滲むような努力の足跡にオーバーラップさせて再現しており、非常に感動的な仕上がりになっていた。一コマ一コマ画面が進むう

日本からの主な参加者

なお、大谷光真会長、野口善雄理事長以外の、日本からの主な参加者は次の通りである。

- 上月照宗 曹洞宗大本山永平寺監院
来馬規雄 曹洞宗総務部長
北條成之 浄土真宗本願寺派総務
中山知見 浄土真宗本願寺派広報部長

ちに、感きわまつてか思わずハンケチを目にする人の姿が、会場のあちこちに見られた。

交歓会は、最後に食後の合掌を曾我部師が、また閉会の辞を白川事務総長が行って、全ての日程を終了した。

不破 仁 真宗大谷派参務

- 川井匡俊 浄土宗財務局長
市川智康 日蓮宗大本山本門寺執事
藤井真水 高野山真言宗宿老
澤井進堂 臨濟宗妙心寺派師家
北角円澄 天台宗社会部長
竹村智優 真言宗智山派教区代表会議
長
近藤隆敬 全仏国際専門委員会委員長

参院選

全仏の推薦候補

本年七月に予定されております第十五

回参議院議員通常選挙に、本会は加盟団



青森―松尾 官平 61歳 自民・現
①浄土宗 ②中央大中退 労働政務次官、
③党広報副委員長 参議院環境特別委員
会理事



三重―水谷 力 62歳 自民・現
①浄土宗 ②早大卒 党県連会長 党国
村副委員長 ③農林水産政務次官

(真言宗智山派)
相島俊昭 真言宗豊山派会計課長
また、本会関係者として事務総局から

は、白川良純事務総長、川島宏之総務部長、剛山浩義財務部長、齋藤明聖同和推進部長、野生司祐宏社会部長、杜多徳雄国際文化部長(WFB執行委員)、西岡知

圓総務部次長、神代紹文財務部次長、木内隆志国際文化部次長、水野和子主事が、さらに神田洋子日宗連主事、長谷川正浩顧問弁護士等がこの大会へ参加した。

一方、第十六回世界仏教徒会議と並行して、第七回世界仏教青年会議が開かれ、日本からは、全日本仏教青年会の神野哲州師をはじめ、約二〇人が出席した。

体より申請のあった立候補予定者に対し、推薦状を交付して支援いたします。今後、各団体より申請のあった順に、本誌に掲載し、ご紹介いたします。

- ①推薦団体 ②略歴 ③現職



福岡―遠藤 政夫 65歳 自民・現
①浄土宗 ②東大卒 参議院議員運営委員
会理事 大蔵政務次官 党労働部会長
③党総務

文化財保護の充実

自民党へ要望書

本会では、仏教文化財の保護を積極的に進めるため、昨年十二月十四日、左記のような「国宝、重要文化財の保護対策の充実についての要望書」を、野口善雄全仏理事長名で、自由民主党文教部会、文教制度調査会、文教局へ提出した。

国宝、重要文化財の保護対策の充実についての要望書

国宝、重要文化財は、我が国の歴史・文化の正しい理解のために欠くことのできない貴重な文化遺産であり、永く子孫に伝えていかなくてはなりません。

私ども所有者は、その自覚のもとに保存管理に日夜苦心を重ねておりますが、窮迫した財政状態等により保存に必要な措置を講ずることが困難となっており、このままでは文化財保護に問題を生ずるおそれがあります。

ついては、国においても文化財の保存管理事業の充実をめざし、次のような各項目について格別の財政措置を講ぜられるよう切に要望致します。

記

一、国宝、重要文化財の保護対策の充実

二、伝統的建造物群の整備
三、文化財保存施設の整備

1989年1月1日

四、伝統技術の保存・振興
ルンビニー委員会
マヤ堂復興に
調査団を派遣

第六回ルンビニー復興日本仏教徒委員会が、去る十二月二十日午後二時から、明照会館三階会議室で開催された。

白川事務総長が挨拶、その後川井委員長を議長に会議に入った。

最初に杜多国際文化部長から、前回のルンビニー現地視察及び復興の課題と今後の方針の報告があった。続いて各委員より活発な意見交換が行われ、要旨次のような結論が出された。

①マヤ堂の復興に関して

菩提樹の移植には、マヤ堂の解体修理も必要と思われるので、早急に専門家を含めた調査団を現地に派遣する。

②友情橋に関して

本会は、WFBとの約束により経費の一部を負担する事になっているが、橋の設計変更による予算の変動があるため、結論は先おくりにする。

最後に、次回委員会を四月中旬頃に開催する事を決め、閉会された。

好評・長谷川先生の

「寺院運営の税務相談」

1割引でおわけしております

これまで
も本誌でこ
紹介してき
ました、本
会顧問弁護
士の長谷川
正浩先生が
著した「寺
院運営の税
務相談」社
団法人民事
法情報セン
ター発行）
は、昨年十
一月に刊行
されて以来、多くの寺院関係者から、好評を頂いています。

本書は三部から構成されており、寺院をめぐる法律や税務の諸問題が、具体的かつわかりやすく解説されています。

第一部「宗教法人と税を考える」は、長谷川先生が本会の「税務セミナー」で行った講演記録をもとに、宗教学法と税制が社会的にクローズアップされてきた今日までの経緯と、今後の展望を概説されています。

第二部「寺院の税務実務一問一答」は、本誌に昭和五十七年四月号から連載されてきました「法律相談室」のうちで税金に関するものを、一問一答形式でまとめました。

第三部「寺院の財務手引」は、本会税務委員会が編集された「財務手引書」を収載したものです。

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)
電話 代表(841) 4965

中에서도、「寺院の税務実務一問一答」は、寺院収入の基本的な考え方、税務調査への対処方法等が、平易にまとめられており、寺院住職が日々直面している諸問題の解決方法が、一読のもとにわかる内容となっております。

全国各地で寺院に対する税務調査が、ますますさびしさを増す状況の中で、本書は全ての寺院関係者にとって必読の書といえます。

なお、本書のご注文は左記までお願い致します。定価(千八百円)の一割引きでお分け頂きます。

〒100東京都新宿区新宿一―一九―一六
I S H I B U R I 二〇五号
長谷川法律会計事務所
〇三―三三―五二―四五五四

希望者へ「全日本
仏教会の歩み」
お頒けします

お頒けします

特に日本仏教の戦後史を知る上で、欠かすことのできない貴重な資料といわれております。

もともと、一般への頒布を目的とした本ではなかったのですが、問い合わせや購入希望が数多く寄せられています。

そこで、残部を実費（一冊千円）でおわけすることになりました。希望者は、本会総務部までご連絡下さい。

バングラデイシュ救援金

第一回分二万ドル、現地へ送る

全日本仏教会は、一九五七年に財団法人として発足し、一昨年、満三十年を迎えることができました。『全日本仏教会の歩み』は、これを記念して刊行されたもので、加盟団体を中心に広く配布され、各方面で好評を博しています。

この記念誌には、発足より今日に到るまでの本会の歴史と、現在の活動内容がわかりやすく詳細にまとめられており、

バングラデイシュでは、昨年八月、今世紀最大といわれる洪水に見舞われ、大きな被害をうけました。

バングラデイシュ救援募金一覽 (到着順)

本会では加盟団体すべてに、この災害に対する救済協力の要請を行い、別掲の通り救援金を送っていただきました。このうち第一回分として二万ドルを、昨年十二月にタッカ市のゲンマラージカ仏教

孤児院へ送ることができました。ご協力下さいました皆様は、心よりお礼を申し上げます。なお、本会では本年二月十五日まで、引き続き救援金の募集を行っておりますので、各位のご協力をお願い申し上げます。

(送金先)
東京都港区芝公園四一七―四
財全日本仏教会
郵便振替 東京2―59547

団体名	募金額(円)
日本仏教保育協会	100,000
真理舎	10,000
孝道教団	100,000
和宗	50,000
仁和寺	10,000
曹洞宗	300,000
浄土宗西山深草派	20,000
岐阜県仏教会	10,000
西山浄土宗	20,000
吉野真常	6,000
沖縄県仏教会	50,000
大槻寺	1,000
松濤弘道	100,000
練馬区仏教会	10,000
東寺真言宗	100,000
和歌山県仏教会	30,000
日本仏教讃仰会	5,000
新義真言宗	10,000
妙見宗	30,000
四谷仏教会	22,500
中野区仏教会	30,000
真言宗須磨寺派	10,000
香川県仏教会	10,000
兵庫県仏教会	100,000
念法真教	100,000
高野山真言宗	100,000
滋賀県仏教会	10,000
臨済宗建長寺派	100,000
静岡県仏教会	20,000
三鷹仏教会	12,000
日蓮宗	300,000
埼玉県佛教会	1,862,423
茨城県仏教会	103,250
真言宗智山派	100,000
真言宗豊山派	100,000
浄土真宗本願寺派	200,000
黄檗宗	50,000
真宗大谷派	300,000
全仏職員一同	40,000
合計	4,532,173

同宗連の研修会

第3回部落解放基礎講座 、 京都で60余名が受講

七日午後一時から禅林寺本坊鶴寿台で開講式が行われ、今回の講師でもある真宗大谷派同和推進本部委員・今堂康雄師の開会の辞、禅林寺派宗務総長水野良雄師の挨拶の後、伊東俊彦同宗連事務局長から、二日間の日程に関するオリエンテーションが行われ、開講式を終了した。

映画を併用して講義

午後一時半から講義(1)として、日本聖公会の田光信幸氏が、「部落差別の歴史」をテーマに、資料と映画を併用しながら講義を行った。

田光氏は最初に、部落差別の起源について①人種②職業③宗教④政治の四説がある事を詳細に説明、これらの諸説が混然と説かれ、また理解されて来た経緯を報告した。そして明治四年発布の「解放令」、大正十一年の水平社創立に触れられた後、昭和五十六年の同宗連結成で話を結ばれた。

午後四時から講義(2)として、今堂康雄師が「宗教と部落差別」のテーマで講義を行った。

今堂師は、宗派内で起った三つの差別事件を実例として取り上げ、今日を生きる宗教者として、①同和問題は政治的・社会的問題であって、「信心」の場で取り上げるべき問題でない、②「信心」さえはつきりしたら差別はなくなるのではない、等々の見解には疑問が残る、と問題提起を行った。

午後六時半から永観堂会館にて夕食、七時半から部落解放同盟京都府連との懇

談会を行った。京都府連からは、禅林寺近在の錦林支部から四名が参加した。京都市下の活動状況、錦林地区の現状報告が行われ、差別の陰湿化の実例として、岩倉地区差別落書事件の現場写真が公表された。

午後九時半から永観堂会館会議室で懇親会が行われ、第一日目の日程を終了。

四分散会で討論研修

第二日目は午前八時半から四つの分散会に分かれ、討議研修を行った。その後十一時から全体会、各分散会の討議内容が発表された。今回の受講者は初めて参加した人が多く、差別の実例等に関する意見が大半であったが、全体意見として「部落差別は観念的な理解ではなく、感性として、また個人の意識の中に実態をともなつて理解して行く必要がある」とまとめられた。

昼食の後、午後一時から講義(3)として「現代における部落差別」をテーマに、日本基督教団の小野一郎氏が講義を行った。「世界人権宣言四十周年記念の年をおぼえつつ」の副題で、日本の世界人権宣言の批准に至る経過、また人権宣言の基本精神と部落解放運動の精神の関係へと話は進み、昭和六十二年公布の「地域改善対策事業に係わる国の財政上の特別措置に関する法律」(地対財特法)の説明で話を結ばれた。

午後三時半から閉講式が行われ、二日間わたる全日程を終了した。

一九八九年版 全仏手帳

申込み受付中

全日本仏教会では、左記要領にて、「全仏手帳」を発行します。部数に限りがございますので、御注文は早めに。

内容 三掃依文、四弘誓願、宗門聖日、加盟団体役員住所録その他

サイズ 9×14cm

定価 六〇〇円(送料実費)

申込先 東京都港区芝公園四一七一

四 全日本仏教会

「全仏手帳係」宛

全仏輪袈裟

こげ茶、法輪マーク付き

¥一、五〇〇円

法輪バッチ

径1cm、ネジ式

¥一、〇〇〇円

日の丸・仏旗バッチ

¥五〇〇円

全日本仏教会財務部

第六回 全仏囲碁大会

三月八日、日本棋院で

第六回全日本仏教会囲碁大会は、左記の通り開催が決まりました。
参加希望の方は、本会国際文化部までお申し込み下さい。

日時 平成元年三月八日(水)
会場 日本棋院(東京・市ヶ谷)
参加資格 全仏加盟団体所属の僧侶
参加費 一万円(昼食・懇親会費・記念品代を含む)

競技方法 ①次のクラスを選択する
A(五段以上)、B(三・四段)
C(初・二段)、D(二級以下)
E(五級以下)
②オール互先
懇親会 大会終了後、表彰式を兼ねて行う
問い合わせ 全仏国際文化部まで

哀 悼

宇佐見諦練師(全仏理事)
昭和六十三年十月三十日、八十一歳で遷化。前愛知県仏教会会長。
田代尚光師
昭和六十三年十二月三日、八十五歳で遷

化。融通念仏宗管長、総本山大念仏寺法主。
山田無文師(元全仏副会長)
昭和六十三年十二月二十四日、八十八歳で遷化。元臨濟宗妙心寺派管長、花園大学名誉学長。

事務局人事

同和推進部長 久米原恒久・1新任

事務局録事

(十二月)

一日 局内会議
三日 反差別国際会議東京集会出席

五日 同和委員会
三木元総理本葬参列
七日 同宗連研修会出席(八日)
八日 東京都仏成道会参列
九日 日宗連理事会
十二日 岐阜県仏出版記念会出席
十四日 局内会議
二十日 ルンビニー委員会
二十二日 宗教法人セミナー(岐阜)

一九八九年一月一日発行
一月号 第三四五号

発行人 白川良純 発行所

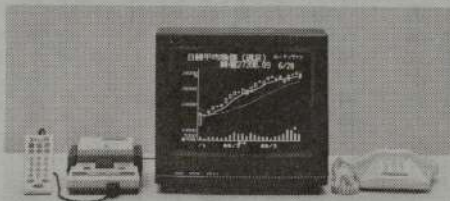
財団法人 全日本仏教会

〒一〇五 東京都港区芝公園四一七―四
電話 〇三(四三七)九二七七

ピピッと株式、
ファミコンで。



ファミコンで、リアルタイムの株式投資。
時価速報など、最新の株式情報がたちまちわかる。早朝、深夜でも株式の売買注文がピピッとできる。山一のサンラインF-III。わが家のファミコンが、こんなに役にたつとは。



山一のサンライン

お申込みは最寄りの山一証券、本・支店または下記の電話へ

「サンライン」専用お問合せ電話(通話料金無料)

☎(局番なし) **0120-001234** ※平日8:30-17:00 ※土曜(第2-3を除く) 8:30-12:00

山一証券

〒104 東京都中央区八重洲2の4の1
☎(03)276-3181(代表)

詳しい資料をご希望の方は、右の資料請求券を裏面に貼って住所・氏名・電話番号・職業・年齢をご記入の上、〒103 東京・日本橋區区内 山一証券証券情報部まで請求ください。

資料請求券
サンラインF-III
全仏